

箕輪町における生活支援活動推進セミナーにて 中原区 SC・暮らしの安全対策委員会が取組み発表

○開催経過

- ・ 社会保障を持続可能なものにしていくための介護保険改正動向
 - ・ 2025 年を目処に構築を進めている地域包括ケアシステム
 - ・ 平成 29 年 4 月から町へ移行した介護予防・日常生活支援総合事業
- 等から、箕輪町社会福祉協議会では、住民同士の支え合い活動の広がりを目指す「生活支援活動セミナー」を開催し、中原区 SC は暮らしの安全対策委員会がその取組みを発表しました。

○開催概要

- ・ 日時 平成 29 年 9 月 7 日(木)午後 1 時 30 分から午後 4 時
- ・ 場所 箕輪町文化センター ホール
- ・ 主催 箕輪町社会福祉協議会
- ・ 参加者 自治会役員、地区の支えあい組織等 120 人
- ・ 概要

住民同士の支え合い活動として、中原区 SC、長岡地区社会福祉協議会、北小河内ふれあいサロンが事例発表を行い、参加者とともに意見交換・質疑応答を行いました。

中原区 SC は、事務局長と暮らしの安全対策委員会委員長が、

昨年行った、11 項目の困りごと区民アンケートと支援のシステム・ルール化
(28 年度は、雪かきとゴミ出し支援を決定。)

命のカプセル運動の推進

ふれあい交流活動への参加

の取組み現状と 29 年度活動方針を発表しました。

参加者からも多くの意見等が出され、「大変有意義であった」との声が聞かれました。



中原区 SC の発表



意見交換・質疑応答